

公 表 日

令和 3 年 9 月 6 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和3年度VR技術を活用した鋼橋メンテナンスモデル検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 小串 俊幸 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契約年月日	令和 3 年 9 月 6 日
契約業者名	中央コンサルタンツ (株)
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区冷泉町2-1
契約金額	13,981,000円 (税込み)
予定価格	13,981,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	福岡県久留米市高野1丁目3番1号
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 3 年 9 月 7 日
履行期間(至)	令和 4 年 3 月 1 5 日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和3年度 VR 技術を活用した鋼橋メンテナンスモデル検討業務
2. 履行場所 久留米市高野1-3-1
3. 契約の相手方 住所：福岡市博多区冷泉町2番1号
会社名：中央コンサルタンツ（株）福岡支店
電話：092-271-2541
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、橋梁に関する維持管理技術の向上に資するため、鋼橋の劣化進行に伴う不具合をVR技術で再現することにより、橋梁点検の損傷の主な着目箇所、点検順序や手法、詳細調査手法、健全度診断までの一連で、身につけなければならない知識や技術力を向上する研修用ツールを作成するものである。

2) 業務の内容

本業務は、計画準備、鋼橋の損傷・劣化状況の把握、鋼橋における代表損傷とメカニズム整理、橋梁メンテナンスモデル（鋼橋版）の選定、鋼橋3次元データ作成、点検・調査・診断手法の整理、報告書作成を行うものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する2者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマ「道路橋の維持管理に関して橋梁点検、詳細調査、健全度診断までの一連の流れが理解できるようなVRデータを作成するにあたっての留意点について」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の資格及び実績等」及び「配置予定技術者の成績及び表彰等」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における「実施フロー及び工程計画の工夫」が記載されていること、及び特定テーマの「道路橋の維持管理に関して橋梁点検、詳細調査、健全度診断までの一連の流れが理解できるようなVRデータを作成するにあたっての留意点について」に対する技術提案について、「与条件との整合性」、「着目点、問題点、解決方法等の整理」、「提案内容の説得力」、「提案内容を裏付ける類似実績」が最も優れた提案が行われていたのものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 維持管理技術課長